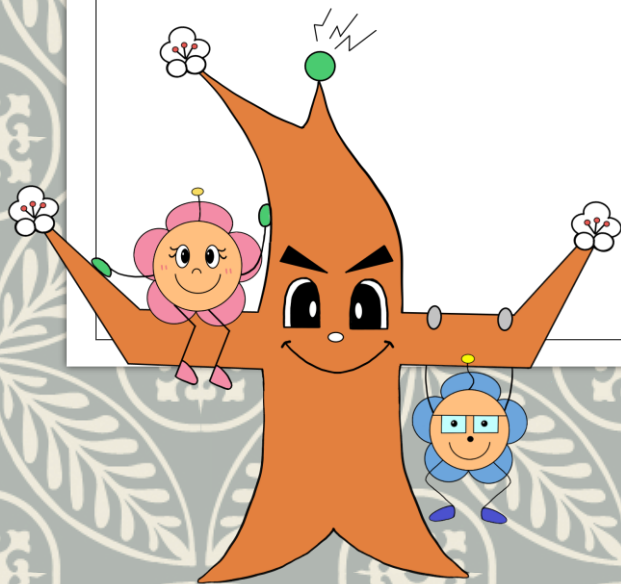
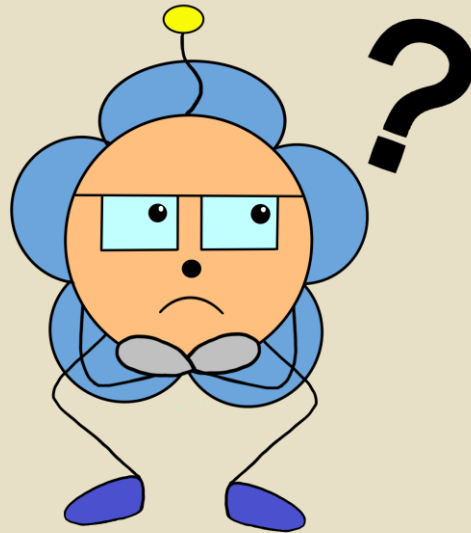


第2回 コミュニティ・スクール準備委員会

熟議



(1) 第1回 学校評価結果と改善策



学校の様子

学校の様子の周知
保護者の学校行事への参加

A



「開かれた学校づくり」

- HPや学校だよりの充実
- 来校の機会の拡充

⇔多忙な保護者・新型コロナ

学習

学習の基礎・基本の理解

学年×10分+10分の家庭学習

児童はAと評価しているが、
保護者はB



「学力向上」

- ・校内研修による授業改善（『はばたく群馬の指導プラン』に基づく授業）
- ・研究指定
 - ①西部教育事務所「学力向上実践事業」
 - ②群馬県ICT活用プロジェクト実践推進校
- ・国語科の言語能力育成と他教科でのその活用により、表現力・思考力の育成
- ・家庭学習の奨励⇔2極化

※資料『ステップアップ通信』

読書

家でよく読書をする

児童はC 保護者はD



「読書の奨励」

- ・ 秋間小の100冊
- ・ 読書貯金

⇔ 子供の多忙化

スマホやゲームの優勢

学校では、外遊びも推奨

あいさつ

学校・家庭・地域で進んで
あいさつ

児童はA、保護者はB



「あいさつの奨励」

- ・ 児童会によるあいさつ運動
- ・ 合言葉「明るいあいさつ」
- ・ 一中のあいさつ運動

⇔地域とともに育てたいが、まだその体制はない

いじめ

いじめられている事実無し
いじめている事実無し
児童も保護者もA



「いじめ0」

- ・ いじめ防止基本方針
- ・ 校内いじめ防止委員会
- ・ 校内生徒指導委員会での組織的かつ迅速な対応
- ・ 人権月間（いじめ防止集会、人権集会、全校道徳、道徳通信※資料、道徳授業、人権ビデオ視聴、人権標語、人権ポスター）
- ・ SOSの出し方教育
- ・ 毎月の「子供を考える時間」
- ・ 規律確保行動計画による教師の児童への不適切な指導の禁止
- ・ 教師も人権のある一人の人間であることも話した

⇔知識としていじめはいけないことは分かっているが、
実生活では自己中心的な考えや相手の気持ちを無視した言動も
叱られるべき時に叱ってもらえない実態（保護者の温度差）
アサーショントレーニング（SSWから情報あり）

基本的な生活習慣

早寝早起き朝ご飯

児童、保護者共にA

外遊びや、運動等の身体
を動かす習慣

児童はA

保護者はB



「生活習慣を整える支援」

- ・生活リズムチェック
- ・学校保健委員会

⇔外遊びをさせたいが、安全
に遊べる場所の確保難しい

安全

交通ルール

児童 A

安全や緊急時の対応を親子で話す

児童 A 保護者 C

学校の安全管理

保護者 A



「安全・防災への指導」

- ・交通安全指導（地域・家庭の力）
- ・現実味のある定期的な避難訓練
- ・「守ろう命カード」

⇔ 1年に1回見直しをお願いしているが保護者は家で話し合っていないと評価している

キャリア教育

将来の夢がある

児童・保護者共にA

将来の夢について親子で話す

児童・保護者共にB



「自分の未来、地域の未来」

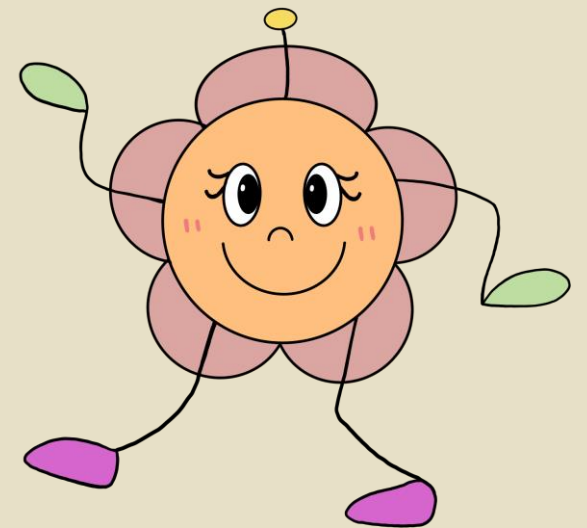
- ・ 秋間学習（米作り・梅林）
- ・ ユニクロ（SDGs）
- ・ 法人会（税金）

話を聴くことと言うより、活動を通して生き方を学ぶ

⇔もっと地域人材や外部講師をお呼びしたい

その他

「秋間小学校コミュニティ・スクール準備
委員会アンケート」による質問について



1 教育課程

- ・ 国際理解教育は外国語活動・外国語・総合的な学習・社会科
- ・ プログラミング学習は、6年理科・5年算数とアンプラグドとして各教科の思考表現の場面で
- ・ 「総合的な学習」は、各教科での学び（特に国語の言語能力）を活用し、学びを「つなぐ」時間という共通理解で指導。
そのために、「秋間学習」は重要。
まずは身近なことから課題を見つけ、解決のための方策を立案・実践する体験の積み重ねから、国際社会に考えをつなげていけるようにしたい。
- ・ 主体性や考えを相手に伝える発信力は、総合的な学習や児童会活動などで、「言葉のノート」やICT機器を活用して育成
- ・ 「言葉のノート」とは、国語科で学んだ言語技能を単元の終わりなどに「まとめ」として書きためている「国語のノート」の別冊。

2 校務について

- ・ DXスタッフは、今年度より県の会計年度職員として採用。

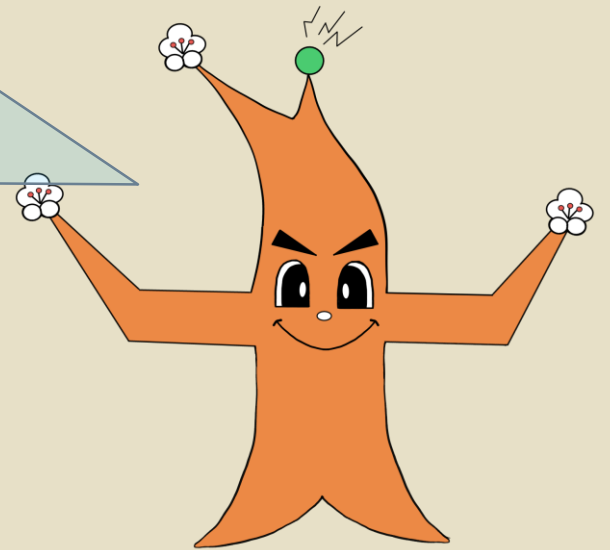
【業務内容】

- 4月に導入となった一人一台タブレット端末の設定
 - 授業における個別最適な学びや協働的な学びに活用するための相談役・技能指導役
 - 児童への指導のためにICT活用のある授業のチームティーチングにも入る
- ・ 業務改善は、アンケート集計や会議へのICT導入で少し進んだが、新しい教育はどんどん導入され、その研修や準備、組織作りなど仕事は増加。そのため役割も増加している。

3 コミュニティー・スクールについての 研修

- ・学校にとっても地域にとっても初めてのことなので、理解のための研修や運営のための研修は今後数年間は段階的に必要である。

まずは私たちの秋間小学校
で育てたい子供の姿に
ついて考えを伝え合い、
共有しましょう！



(2) 育てたい子供の姿について

KJ法による

ファシリテーター：佐藤 崇 先生

- 1 配付された青色の付箋一枚につき一項目ずつ、育てたい子供の姿を書く。(10分)
- 2 各班、番号①の委員さんから順番に、言葉をそえながら自分の付箋を模造紙に貼る。

(一人5分以内。全30分)

※発言者以外で同じ意見の付箋を持っている人は、「同じです」と言って、その付箋の近くに貼る。

- 3 各班リーダーによる付箋整理(20分)
 - ①カテゴリー分け
 - ②行うのに障害があるもの、課題があるものはそのことを黄色の付箋に書き、近くに貼る
- 4 各班からの発表(5分ずつ 全10分)